

社会的側面での取り組み

日東電工グループの従業員は、誇り・気概を持ち、常に“チャレンジ精神を持って行動する”人として、また会社は常に“がんばる人を応援する”企業として皆様に認めていただける活動に取り組んでいます。

社会的側面での取り組みハイライト

“チャレンジする人を応援する”

～各エリアでの、従業員を中心とした活動と社会貢献

大阪国際女子マラソンでの、従業員ボランティア

2006年1月、日東電工グループは昨年に引き続き、大阪国際女子マラソンに協賛しました。多くの方々に日東電工を知っていただくことはもちろんですが、従業員がグループの一員であることに誇りを持ち、輝いてもらうことを、大会に協賛する第一の目的としています。

今回の大会では、グループ各社より集まったメンバーで、大会を盛り上げるためのプロジェクトを組みました。大会をサポートする企画、従業員が地域の方と触れ合う企画、グループ会社の従業員が一体となって行うことができる企画といったテーマで、さまざまなアイデアが提案され、日東電工グループの製品を利用したテーピングサービス、ハーフマラソンの給水ボランティア、子ども向けのさまざまなイベント、清掃活動などを実施。多くのグループ従業員がボランティアとして活動に参加し、グループ一丸となって大会を盛り上げました。また、この大会にあわせて、募金活動も実施し、689,931円を(財)日本障害者スポーツ協会に寄付しています。

同時に行われた市民ハーフマラソンでは、従業員とその家族、中国のグループ会社従業員8名、あわせて67名が参加しました。中国グループ会社の参加従業員からは、「日東電工グループのためにもっと頑張りたい」「また機会があれば是非とも参加したい」などの感想がありました。



大阪国際女子マラソンに400名のグループ従業員ボランティアが参加



大阪国際女子マラソン

日東電工ひまわりで、障害者のスポーツ支援

日東電工ひまわりは、障害者の雇用促進を目的に、2000年に豊橋事業所内に設立。「ひまわり」という社名は、「いつも太陽に向かって、明るい将来に向けて希望に満ちた、高く強く育つ花」にちなんでつけられ、障害者の方が自立して生き生きと働ける職場環境づくりに努めています。

「ひまわり」では、障害者の積極的なスポーツ活動への参加を支援しており、2005年11月には、「第3回あいち障害者フライングディスク競技会」に従業員15名が参加、9名が入賞するという好成績を収めました。誰にでもなじみやすいスポーツであることから、「ひまわり」では全従業員が昼休みの休憩時間を利用して技を磨いています。2006年1月の「大阪国際女子マラソン」では、フライングディスクの楽しさを体験してもらおうと、「ひまわり」の従業員25名がボランティアとして参加し、ご来場の皆様との交流を深めました。

従業員の中には、車椅子バスケットボールの愛知県代表選手もおり、大会へ応援に行くなどして会社としても応援をしています。2004年度「全日本身体障害者スポーツ大会」では、車椅子バスケットボール競技で愛知県が優勝、2005年度では第3位で銅メダルを獲得するという好成績を収めており、日々練習に励んでいます。

中国で、積極的な交通安全運動を実施

日東電工(上海松江)では、従業員の労働安全衛生の向上に努めています。中国は交通事情が良くないことから、同社では、事故防止のためバイク通勤の従業員に対して、中国では義務づけられていないヘルメットの着用を徹底。朝の出勤時のヘルメットやバイクの整備状況などのチェック、交通事故予防ポスターの作成などをして、交通安全を推進しています。さらに、地域の交通事故を防止するため同社が中心となり、他の会社と共同交通安全啓蒙活動を行っています。

また、2005年度は、食堂を改修し面積を広げ雰囲気をも明るくしました。

ヨーロッパで、ソーラーカーレースに協力

日東ヨーロッパ(ベルギー)は、2005年9月オーストラリアで開催されたソーラーカーレース「ワールドソーラーチャレンジ(WSC)」に参加したベルギーチームのスポンサーの1社として協力しました。このレースは、各チームが自作のソーラーカーで、オーストラリア大陸3,000kmを縦断するというものです。同社は、寄付金とソーラーカー製作用に製品を提供。ベルギーチームは11位と健闘しWSCのオブザーバーから「The Hans Tholstrup Adventure Award」賞を獲得しました。また、同社では、地元のプロサッカーチーム「Genk」のスポンサーも続けています。

